

[標準様式例 7-3]

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 3 非接触型流量観測検討業務
業 務 概 要	本業務は、高水時流量観測の無人化・省力化を図り、観測員の安全性や観測の確実性の向上を図ることを目的として、革新的河川技術プロジェクトで実施している「流量観測機器」の開発をもとに、関東地方整備局管内における非接触型流量観測の導入にむけた検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 若林 伸幸 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和4年3月4日
契 約 業 者 名	株式会社東京建設コンサルタント
契 約 業 者 の 住 所	東京都豊島区北大塚一丁目15番6号
契 約 金 額	¥24,970,000円 (税込み)
予 定 価 格	¥24,970,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、高水時流量観測の無人化・省力化を図り、観測員の安全性や観測の確実性の向上を図ることを目的として、革新的河川技術プロジェクトで実施している「流量観測機器」の開発をもとに、関東地方整備局管内における非接触型流量観測の導入にむけた検討を行うものである。</p> <p>本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務に臨む体制などを含めた技術提案を求め、簡易公募型（拡大型）プロポーザル方式により選定を行った。</p> <p>株式会社東京建設コンサルタントは、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。</p>
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 ( 自 )	令和4年 3月 5日
履 行 期 間 ( 至 )	令和4年 9月30日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。